

No.22 様々な工法の事例等を 一元的に閲覧できるサービスが欲しい

- ✓ 建設工事における新工法が日々開発されているが、
末端の実務者が、網羅的にその情報を得る手段がない。
→ より現場に適した技術を知る手段がない
- ✓ 新工法を採用した工事の管理監督にあたり
(経験が浅い技術者は、一般的な工法であっても)、
その内容(施工手順、規格基準、施工の急所)を
理解できていないことがある。
→ 新工法の長所を生かせない



○事業の計画から設計、施工、維持更新の全ての段階で利用できる、

新旧様々な工法の

「調査事例、設計事例、積算事例、

施工事例、フォローアップ事例」を

一元的に検索、閲覧、学習できるサービスが欲しい。

→「文字・図面・写真」だけでなく「動画」があれば、より理解しやすい

No.22 様々な工法の事例等を 一元的に閲覧できるサービスが欲しい

(発注者)

- ・経験したことのない工種の施工現場を監督する際、その工種の施工状況、施工管理方法、施工上の注意点などを、工事着手前に施工事例を確認して理解しておけば、監督の効率が向上するほか、施工者に誤った指示をするなどのミスも防止できる。

(設計者)

- ・在来工法よりも現場に適した工法が提案できる。
- ・施工手順を知れば、精度の高い施工計画を立案できる。

(施工者)

- ・初めての工法で施工する際、事前に施工方法や管理方法の情報を得られれば、生産性が向上し、より高い品質での施工が可能となる。

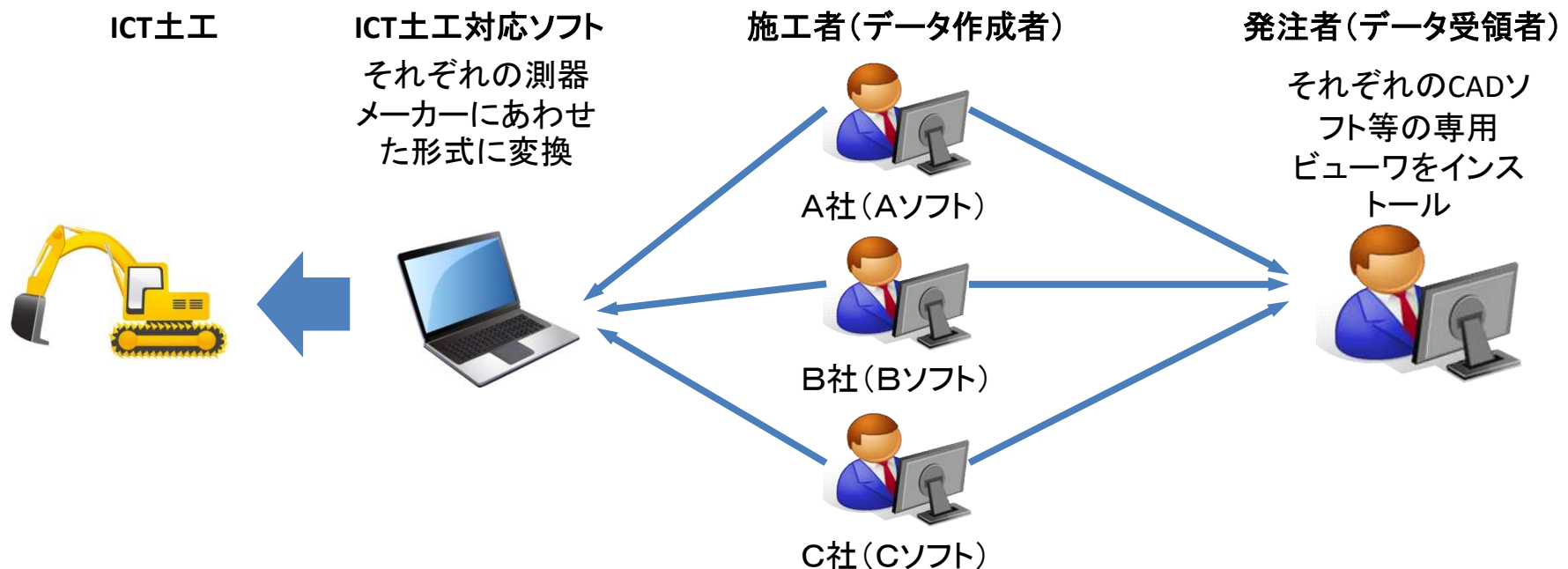
(共通)

- ・新人、若手の教育
- ・さらに、オープンデータ化され、二次利用が可能となれば、一般住民にもわかりやすい広報資料の作成などに活用できる

No.23 施工者、発注者が設計データを確認できるビューワ、 共通活用できるデータ形式がほしい

ニーズの概要

- 作成した3DデータはLandXML形式ファイルを受け取ってもすぐに議論できない
- 見る側は作成されたソフトに対応するビューワをインストールしなければならないが、作る側のソフトは複数あるためすべてを入れる必要がありPCに負荷がかかる
- 理想と現実のギャップがCADソフト・測器メーカー等それぞれの仕組みに制約され本来の効率化にはつながっていない
- IFC連携は変換精度が低く不具合が多いため活用できない
- 作成から活用までに複数システムが入るため二度手間・三度手間が当たり前となり効率化を目指すはずが技術者の負担を作りだしている。



No.23 施工者、発注者が設計データを確認できるビューワ、共通活用できるデータ形式がほしい

期待するシーズ

- 互換性があり変換精度の高いデータ形式、各ソフト共通のPCビューワ・情報共有システムASPビューワがあれば、各者が簡単・スムーズに閲覧・協議できる。そうなれば手間は軽減され双方の意思決定が早まることと、さらにASPによる情報共有と協議が行いやすくなりメリットが増す。

